

科目名 疾病論Ⅴ		配当時期 1 年次 後期	講義担当者
時間割表記名		単位数 1 単位	福元哲也 田北智裕
疾病論Ⅴ(運動器・脳神経・救急処置)		時間数 30 時間(16 回)	中川隆志 櫻井聖大
事前学習内容 解剖生理学・病理学・生化学などの既習学習を踏まえて授業に参加する。			
授業目標 1. 疾病の成り立ちと回復の促進について理解し、病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・検査・診断・治療について理解できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	運動器 1)主な疾患 (1)骨折 (2)骨粗鬆症 (3)脱臼 2)主な検査 (1)画像検査 (2)骨密度測定 3)主な治療 (1)保存的治療(ギプス・シーネ固定、牽引、透視下整復等) (2)手術療法(骨折観血の手術、観血的整復固定術等) (3)薬物治療 (4)理学療法・作業療法	講義	テキスト①
2	運動器 1)主な疾患 (1)腰部脊柱管狭窄症 (2)椎間板ヘルニア (3)脊髄損傷 2)主な検査 (1)画像検査 (2)ミエログラフィー 3)主な治療 (1)保存的治療(装具) (2)手術療法(椎弓切除術、髄核摘出術、脊椎固定術等)	講義	テキスト①
3	運動器 1)主な疾患 (1)筋・腱・靱帯などの損傷 (2)骨髄炎 (3)関節炎 (4)膝内障(半月板損傷等) (5)骨腫瘍 2)主な検査 (1)画像検査 (2)骨生検 3)主な治療 (1)薬物治療 (2)保存的治療 (3)化学療法 (4)放射線治療 (2)手術療法(腱縫合、関節鏡下手術、デブリードメント、骨腫瘍摘出術、自家骨移植術等)	講義	テキスト①

4	運動器 1)主な疾患 (1)関節リウマチ (2)変形性膝関節症 (3)変形性股関節症 2)主な検査 (1)画像検査 3)主な治療 (1)保存的治療 (2)手術療法(骨切り術、人工関節置換術)	講義	テキスト①
5	運動器 1)主な疾患 (1)末梢神経障害 (2)壊死性病変 2)主な検査 (1)画像検査 3)主な治療 (1)保存的治療 (2)手術療法(神経移行術、切断術等) (3)装具・義肢装着	講義	テキスト①
6	脳神経 1)主な疾患 (1)脳梗塞 (2)もやもや病 2)主な検査 (1)神経学的診察 (2)画像検査 (3)脳血管造影 3)主な治療 (1)薬物治療(抗凝固薬、rt-PA 療法)	講義	テキスト②
7	脳神経 1)主な疾患 (1)脳炎 (2)髄膜炎 (3)てんかん (4)水頭症 2)主な検査 (1)画像検査 (2)脳波 3)主な治療 (1)薬物治療	講義	テキスト②
8 9	脳神経 1)主な疾患 (1)パーキンソン病 (2)多発性硬化症 (3)筋萎縮性側索硬化症 (4)重症筋無力症 2)主な検査 (1)画像検査 (2)筋電図 (3)神経電動検査等 3)主な治療 (1)薬物治療 (2)非侵襲的陽圧呼吸(NIPPV) (3)侵襲的陽圧呼吸(IPPV)	講義	テキスト②
10	脳神経 1)主な疾患 (1)ギラン-バレー症候群 (2)顔面神経麻痺 (3)神経痛 2)主な検査	講義	テキスト②

	(1)画像検査 3)主な治療 (1)薬物治療		
11 12	脳神経 1)主な疾患 (1)クモ膜下出血 (2)脳内出血 (3)水頭症 2)主な検査 (1)画像検査 (2)脳血管造影 3)主な治療 (1)手術療法(脳動脈瘤クリッピング、コイル塞栓術、開頭血腫除去術、シャント術、脳室ドレナージ等)	講義	テキスト②⑤
13	脳神経 1)主な疾患 (1)脳腫瘍(神経膠腫、髄膜腫、下垂体線腫等) (2)頭部外傷 2)主な検査 (1)画像検査 3)主な治療 (1)手術療法(開頭腫瘍摘出術 経蝶形骨洞手術、穿頭血腫除去術、開頭減圧術等) (2)薬物治療 (3)化学療法 (4)放射線治療 (5)低体温療法	講義	テキスト②⑤
14 15	1. 救急処置が必要な主な病態 1)心肺停止 2)意識障害 3)多発外傷 4)熱中症・脱水 5)熱傷 6)薬物中毒 2. 主な治療 1)心肺蘇生・全身管理 2)薬物治療 3)胃洗浄 4)創傷処置	講義	テキスト③④
16	筆記試験(60分)	試験(筆記)	
受講上の注意 事前学習・事後学習をきちんと行う			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統学看護講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 医学書院 ②系統学看護講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院 ③看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院 ④看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院 ⑤系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 参考文献			